



子供とかかわる時間の充実に向けて

令和5年（2023年）4月6日 国立第二小学校

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、学校教育の更なる充実が求められています。

こうした中、私たちは子供とかかわる時間の充実に向けて様々な工夫をしています。また、国立市の学校教育がさらに充実するために、教職員の働き方を見直し、子供とかかわる時間の充実をめざした「働き方改革推進実施計画」に基づき、現在、本校で進めていることをまとめました。

1 スクールサポートスタッフ及び校務改善のための時間講師の活用

これまで教員が行っていた学級・教科指導に関する事務や、学校運営に関する校務をサポートするスクールサポートスタッフが配置されています。

また、今年度も様々な制度により、担任に代わって授業を進める時間講師が配置されている学年があります。これにより、教員が子供に直接かかわる時間や、授業等の準備を行う十分な時間の確保をします。

2 勤怠入力端末の設置

教員が働く時間を意識し、ライフ・ワーク・バランスの充実を図るために、職員室には、勤怠入力端末が設置されています。これにより、一人一人が働く時間を意識し、自己の健康を管理することができ、子供とかかわる時間の充実につながっています。

3 電話での連絡

現在、放課後の時間帯（午後6時以降）においては、緊急の電話以外は極力使用を控えていただき、教員が授業等の準備を十分にいき、子供とかかわる時間の充実をめざしています。

今後、昨年度市内全校で設置した音声対応システムによる時間外の対応をさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4 すぐーる及びホームページ等の活用

昨年度は、保護者の皆様のご協力により、すぐーるの活用が出来るようになりました。

今後は、さらに校務事務を軽減し、子供とかかわる時間の充実を図るために、これまで配布していた印刷物の削減に努め、すぐーるやホームページ等への掲載による連絡・周知を行っていきます。

また、欠席や遅刻等の連絡は、すぐーるでご連絡ください。出席を確認するため、午前8時15分までをお願いします。なお、4月中の健康観察もすぐーるでお願いします。